

かほく ワークシート

2 使うこたつに驚き 村田小

村田町村田小の3年生59人が1月27日、町中心部の蔵の町並みを訪れ、古い蔵や昭和の生活用品を見学して、当時の暮らしを学んだ。

築100年の店蔵がある雑貨店かねしように商店を訪問。炭を使わずアイロンやフランネル、足踏みオルガンを興味深そうに見つめ、使い方を繰り返し店主に尋ねた。

加藤清花さん(9)は「炭を使うこたつにびっくりした。家にあるのと違くと驚いていた。一行は観光案内所となっている旧家ヤマ二邸も見学した。



古い店蔵を見学する子どもたち

1 で知る 昔の生活

利府町菅谷台小の3年生58人が1月28日、町郷土資料館を訪れ、大正から昭和にかけて、なりわいを支えた道具を紹介する企画展「今に残る昔の民具」を見学した。企画展は3年生の社会科単元「かわつてきた人々の暮らし」に合わせ、毎年実施。今回は「道具からみる米づくり」として、穀物をより分ける唐箕(とうみ)、土や砂を運び取り分けるなご(約200点が並ぶ。会場では、もんべ姿のボランティア後藤りつ子さん(7)らが道具の名前や使い方を紹介。早川皓君(9)は「器具の仕組みを聞く、よま考えられているなど思った」と話した。



もんべ姿のボランティアから大正、昭和の暮らしを学ぶ児童

- 1
- 2
- 3

の歴史学ぶ 利府・菅谷台小

①本文を読んで、見出しの①・②・③に言葉を入れましょう。

②昭和に使われていた道具で、知っているもの、見たことがあるものを書きましょう。

③昔のくらしや道具と今をくらべて、自分の考えを書きましょう。

(2016年2月5日河北新報朝刊)

年 組 名 前

(小学校3年以上/社会・総合)